

\*\*\*\*\*

言語研究センター共同研究

## スペイン語の中間言語と第二言語の習得について

アルトゥーロ バロン ロペス

本研究グループでは「中間言語と第二外国語習得」の研究を行っています。

スペイン語の習得について議論するためにはまずデータを集めなければなりません。スペイン語を学んでいる学生が良い学習成果を出すためには、本人の努力もちろん重要ですが、効果のある学習方法を採用することが非常に大切です。

言語獲得についての研究が始まったとき、研究者たちは対照言語学のように、母語と目標言語の

違いに注目しましたが、その後言語を学習している学生の個々の目的と意識も取り上げるようになってきました。

私たちの計画では、調査対象の学生（1年生）に対し、4年間にわたり様々なテストとアンケートを行い、Selinkerが1972年に初めて使った「Interlanguage」という概念を用いて、どのようにスペイン語の伝達能力が発展していくのかを分析していきます。

\*\*\*\*\*